



研究開発課題

【国際的な科学技術イノベーターを育成する「地域資源活用型探究学習発展カリキュラム」の開発と評価】

この度、若狭高校は文部科学省より国際的な科学技術人材の育成を図る「SSHスーパーサイエンスハイスクール」(第3期)に指定されました。主体的に課題を設定する力の育成を目指し、海外連携校との共同研究や小中高一貫の連携を見据えた探究カリキュラムや交流事業などを学校一丸となって取り組みます。

ところで、『探究』とは何かご存知でしょうか。なんとなくは分かるけれど…という方もいらっしゃると思いますので、本号では、『探究』についてのQ&Aと夏休みまでの活動を中心に紹介します。

特集

～SSH・研究部 部長に聞きました!探究とはズバリ～

Q1. なんで探究するん?

A1 →従来の知識・技術の学習とは異なり、資質能力（やる気、粘り強さ、コミュニケーション能力など）という目で見えない力を育てるためにを行っています。課題研究はもちろんのこと、普段の授業も生徒のワクワクや興味関心が生まれるような探究的な授業を目指し、「楽しいから学んだ」を目指しています。



SSH・研究部 小坂部長

Q2. 探究って何するん?どうやって磨く?



A2 →探究は素敵と思ったワクワクが始まりになって、物事を追求していくことです。ですので本来、普段の教科の学びも全てが探究と言えます。若狭高校では、地域資源を活用した研究を全学科で実施しています。「私は何が好きなのか、価値を感じるのか」をまず明らかにしていきながら課題と結びつけ科学的な方法で仮説と検証を行います。

Q3. 生徒にとってどんな良いことあるん?

A3 →探究学習をしている在学生や卒業生の調査を行っています。調査の結果、問題解決をする力、主体性や他者との協働性、コミュニケーション能力の向上がみられました。これらは社会で生きていく上で重要な要素になるだけではなく直近の入試や就職活動においても大きく評価されることと思います。実際に本校では「自分の動詞探し」と題してやりたいことを重視した進路支援に4年前から変更しました。進路の実績もこの十数年で最も高い国公立大学の合格率となっています。



Q4. どうやって探究と進路を結びつけてるん?

A4 →「自分の好きなこと」がわかれば、そのために当然一生懸命勉強しますよね。また、自らが計画し、行動するという学習観の変化もポイントだと思います。合わせて、探究するとひとりひとりの生徒を教員がみるので、学年やクラスの塊で見るのではなく、ひとりひとりの特性を見ようという教員の姿勢（進路支援観）が少しずつ変化して良い方向につながっているのではないかと思います。

Q5. 探究の成功とは?



A5 →成功とは一体何でしょうか。たくさんのコンテストの賞を取ることでしょうか。それも一つかと思いますが、探究活動で思いっきり失敗することで学ぶことも大きいのではないのでしょうか。失敗を恐れず、楽しく、粘り強くチャレンジし続ける姿勢が子どもたちや社会の未来を明るく幸せにするのではないのでしょうか。皆さんが安心して学ぶ事ができる環境と授業づくりを私たちは行います。

All English !!

第12回 国際科学フォーラムを開催!!

12th Wakasa International Science Forum

7月13日(土)にフィリピン・デラサルリパ高校、仙台第三高校、西舞鶴高校、高志高校、東海大学付属高輪台高校、藤島高校、台湾暖暖高校の生徒200名以上と対面やオンラインを通じて第12回若狭高校国際科学フォーラムが開催されました。助言者の先生方を含めると総勢260名を超える参加をいただき、大盛況に終わりました。



◆午前◆

台湾・フィリピンの研究連携校の生徒と一緒に探究を進めていくことを目指して、共同研究の方法について議論しました。



◆共同研究マッチング



◆午後◆

本校3年理数探究科の生徒が、国内外の招待校の生徒と研究成果交流を行いました。



◆分科会発表◆質疑応答



世界中の人達と地域の課題解決に取り組んでいきます!



参加校



海外

De La Salle Lipa University High School (フィリピン)
Nuan Nuan Senior High School (台湾)

国内

藤島高校、高志高校、若狭高校
東海大付属高輪台高校、仙台第三高校、西舞鶴高校

NEWS



フィリピン・デラサルリパ高校と協定を結びました
2018年にスタートしたデラサルリパ高校との交流は6年目を迎え、7月12日(金)に第3期の連携協定を結びました。今後も様々な形で交流を進め、共同研究を行っていきます。



参加者の感想

- * 学年も言語も超えて、笑顔で活動出来たことが嬉しかった。(3年普通科生徒)
- * 会場をまとめるのは大変だったけど、楽しく活動できたと、海外の人とお話できて英語をたくさん使えて貴重な体験になってよかった。(2年国際探究科生徒)
- * コミュニケーションは難しい部分があると思いますが、生徒さんたちにとってもの凄いい経験になって、これから力をつけていきかけ、肥やしになったのではないのでしょうか。(運営指導委員長 泉先生)



夏休みまでの活動

先輩から探究について学ぶ

4月17日(水)
2・3年海洋科学科

❖3年生から探究レクチャー

3年生から2年生に探究についてレクチャーする探究レクチャーを行いました。「探究とは何か」を先輩から教わりました。3年生にとっても自分たちの探究を振り返る大切な機会となりました。

6月27日(木)
1・3年普通科

❖探究クロスセッション

3年生が取り組んできた探究学習の成果を1年生に向けて発表しました。1年生は3年生の発表を聞いて、それぞれの活動の方法や今後の進め方などのアドバイスをいただきました。



研究内容を深める

❖探究協働会議

6月11日(火) 2年海洋科学科 6月14日(金) 2年国際探究科
6月21日(金) 2年理数探究科 6月27日(木) 2年普通科

2年生の生徒が取り組んでいる課題研究テーマやリサーチクエスト、進捗状況や不安に思っていることを大学教授や地元企業の方々にお聞きいただき、アドバイスをいただきました。



6月5日(水)
2年理数探究科

❖サイエンスダイアログ

2年理数探究科の生徒を対象に、福井県立大学よりDr.Ehdaa氏にお越しいただき、英語での科学講義を実施しました。病気に対するワクチン開発の方法を、魚の解剖や細胞撮取の実演を交えながら、楽しく教えてくださいました。



地域課題への理解を深める

6月13日(木)
1年普通科

❖地域の方とつこう

1年生普通科では、課題設定に繋げようと「地域の方とつこう」と題して、地域行政の方と質疑応答を交えた対話を行いました。「獣害」「集落活性化」「子育て支援」など14のテーマに分かれて話題提供をいただき、積極的な対話が行われました。



6月13日(木)
1年海洋科学科

❖地域の方へ学びに行こう

1年海洋科学科は、地域の課題や現状を把握すべく「地域の方に学びに行こう」と題して、直接近隣のみなさんへインタビューを行いました。



行政の方々、地域の方々には大変お忙しいところお時間をいただき誠にありがとうございました。



探究活動の成果を発表

7月17日(水)
3年普通科

❖探究Ⅲ発表会

普通科3年生の生徒の探究活動のゴールとして、成果発表会を行いました。昨年度までで取り組んだことをもとに、どのような資質能力が身についたかについて、英語で発表・質疑応答を行いました。今年度は青池調理師専門学校日本語科の学生が新たに参加してくださり、充実した会となりました。



特別講座・校外発表会

サマーセミナー

◆「探究科学Ⅰ」夏季特別講座として「探究サマーセミナー」を開催しました。7月30日(火)は、1年文理探究科の理数探究科希望の生徒が福井県年縞博物館・若狭三方縄文博物館で1日特別講座を受けました。世界の標準時計となった水月湖の年縞に関する講義と実習や福井県年縞博物館・若狭三方縄文博物館の見学を行いました。



◆8月2日(金)は本校にて国際探究科サマーセミナーが開催されました！今年は卒業生との座談会・英語でのアクティビティ・東大教授による講演会と3部構成で企画されました。当日は1・2年生の実行委員の皆さんを中心に将来のことを考えたり、英語話者と楽しく遊んだり、クッキングをしたり、東大教授と教育の本質について深く考えたりと、充実した1日となりました。また1日を通して、1・2年生の仲も深めることができました。

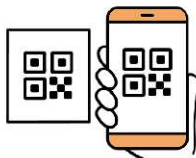


SSH生徒研究発表会

8月7日(水)、8日(木)に令和6年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会にて、本校生徒がポスター発表しました。野菜の皮を用いたダンボールの制作というテーマで発表し、全国で同様に探究している生徒たちと協議を重ねることができました。日常生活や疑問から発展した研究がとても多く、生徒の発想を生かした課題設定が見られました。



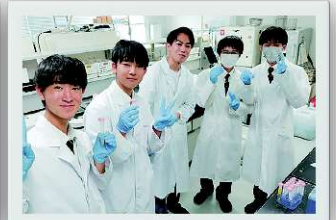
下のQRコードから
若狭高校をチェック
してみましょう!



SSH 研究部 FB 若狭高校 HP 若狭高校 インスタグラム

阪大研修

8月6日(火)～8月8日(木)に大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻の先生方にお世話になり、大阪大学研修を実施しました。若狭高校2年理数探究科10名、1年文理探究科6名、計16名が参加し、各研究室にて濃密な研修を受けさせていただきました。



小浜市研究発表会

SSH 小浜市研究発表会が5月22日(水)(海洋科学科)、23日(木)(理数探究科)に実施されました。当日は、小浜市役所のロビーにてポスター発表・質疑応答をさせていただきました。お忙しい中、小浜市役所や地域の方など多くの方が発表を聞きに来てくださいました。



★★★ 受賞の記録 ★★★

令和5年度

◆令和5年度ふるさと福井CMコンテスト

高等学校英語部門★奨励賞【1年文理探究科】中島 菜、山下 天寧、瀬戸 彩
一般部門★奨励賞【1年普通科】小林 由奈、栗原 那奈

◆令和5年度 小浜市 "学生が考える"まちづくりコンテスト

★最優秀賞「地域で向き合う認知症」【2年国際探究科】田中 咲妃、旭 ひかり
★優秀賞 御食国広報部【2年国際探究科】川瀬 奈穂、西脇 瑞葉、田辺 晃翔
★奨励賞 若狭高校地域盛り上げ隊

【2年国際探究科】井上 歩夢、岡見 皇汰、根本 将汰

◆マイプロジェクト・アワード2023 福井県summit

★地域summit特別賞

御食国大使チーム【2年国際探究科】川瀬 奈穂、西脇 瑞葉、田辺 晃翔
国際交流チーム【2年国際探究科】安藤 優月、田邊 里緒
探究×ウェルビーイングチーム【2年国際探究科】松本 奈々

★全国summit参加

かるた文化の継承チーム【2年国際探究科】清水 陽菜

◆SDGs QUEST みらい甲子園 北陸大会

★審査員特別賞

地域で向き合う認知症チーム【2年国際探究科】田中 咲妃、旭 ひかり

令和6年度

◆日本地球惑星科学連合大会

JpGU-AGU Joint Meetingパブリックセッション「高校生ポスター発表」

★努力賞【3年理数探究科】山本 奈那美

★努力賞【3年普通科理系】細川 千晴
江上 里緒

◆全国高校生SBP交流フェア

★輝賞と特別賞として百五銀行賞

【2年国際探究科】中島 菜、風呂 碧輝

山下 琉希

【2年理数探究科】瀬戸 彩

